

定 一 部 金 武 銭 一 度 五 銭 十 三 日 刊 大 衆  
 二 部 金 武 銭 一 度 五 銭 十 三 日 刊 大 衆  
 三 部 金 武 銭 一 度 五 銭 十 三 日 刊 大 衆  
 四 部 金 武 銭 一 度 五 銭 十 三 日 刊 大 衆  
 五 部 金 武 銭 一 度 五 銭 十 三 日 刊 大 衆

# 常新新聞

八月三十日夕刊

日刊 發行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞社  
 電話 六三〇番

### 我國現時の人口食糧問題

永山勇吉

（八）

どうも益になると気が入らなつてならぬ。が然し假令、鬼が笑ふがエンマが怒らうが苟くも吾民族の將來を想ふものが一度之の趨勢を見聞するに於ては、敢へて自ら國を憂ふる士たらずと稱する者も雖も憂へざるを得ないであらうと思ふのである。

話が此處まで進んで來ると一刻も早く結論に入つて見たいと思ふのであるが、その前に一言、人口増加率と經濟社會との關係を述べて置きたい。

今年は例年に珍らしい暑さであつたが、天文學者は太陽の黒點がその原因の一つだと言ふて居る。所が今度は別の方の學者は、太陽の黒點は妊娠率を高めるから昭和二年度には更に一段の人口増加を見るであらうと言つて居る。其他にも尙妊娠率に及ぼす原因は多くあらうが、私がこゝに言はんとする處のものは妊娠率と經濟社會との關係である

前に既に述べたるが如く彼の産業革命の當初に於ては英獨人口の増加率は急激なる増進を見たのであるが、一九二〇年を時としてそれが急速に減退したのはどう言ふ原因であつたらうか是の二つの原因を探究して見ると、其處には實に興味の點がある、對經濟社會との關係が展開されて來るのである。即ち人口増加率の減退して來た主なる原因と言ふのは労働能率の高上にある。労働能率の高まるると何故人口増加率が減退するか之れは少しく難かしい問題であるが極く簡単に述べて見ると

（つゞく）

肺病 ロクマクの妙薬  
 ホシアンチツベルケン  
 （五日分定價一圓八錢）  
 過去十有年幾多の人を救へる東洋一の此靈藥

肺を病む人 迷ふ勿れ 疑ふ勿れ 信頼せよ

平町三丁目  
 ホシチエーンストア  
 電話四二九番

看護婦派遣  
 の求めに應ず  
 平町南町  
 看護婦會  
 電話三〇七番

玩具・文具・ハーモ  
 ニカ・カルタ・系類  
 森下商店  
 まめや號  
 平町一丁目

けんじつとをもつとつする  
 しんよう

脚氣、淋毒、梅毒、神經痛の  
 （徳島縣、當金屋の家傳の妙薬）

退痛散 特約店 大平屋藥店  
 電話六四二番

總て藥劑は服用せずして其効を論ずるを得ず敢て壹週間の服用を奨め以て其實驗的證明を俟つのみ。

新發賣  
 森永コーラス  
 乳酸菌榮養飲料  
 新鮮なる味と感覺!!  
 切にすゝむ名もコーラスの一杯!!!  
 價 八百五十グラム入 一圓五十錢

洋食  
 美味評判 イウキ食堂  
 平町紺屋町（縣社通り）  
 オの部電話四六〇番

御宴會 五品御銚子一本付金壹圓貳拾錢より  
 蒲燒 御一人前 金壹圓貳拾錢  
 うな井 金七拾錢  
 右の通り大勉強致します何卒御引立の程願ひ上げます

大和家  
 南町（電話十四番）

第十五回福利大賣出し  
 八月二十七日ヨリ向フ十五日間

特等……十割引 今秋ノセール荷揃  
 一等……五割引 夏物藏拂ヒ……  
 二等……三割引 御運次第百圓ノ品  
 三等……一割引 毛只同様  
 四五等……モ割引

中野吳服店  
 平町三丁目（電話六七番）

耳鼻咽喉科専門  
 大和田醫院  
 平南町（電話一七〇番）

外科専門  
 上田外科醫院  
 入院應需  
 平町南町  
 電話一二九番

洋式宴會  
 仕出し  
 一の井  
 平町田町  
 電話一六七番

高久病院  
 院長 醫學士 高久 忠  
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
 平町田町 電話五一三番

町平紺 吉田眼科醫院  
 創業三十週年紀念謝恩  
 自信アル一の井洋食普及  
 九月一日ヨリ向一ヶ月間お勤致します

### 氣運圓滿に展開し

#### 井上茂作氏公認さる

平町愛町の士擧つて喜ぶ

#### 政派四候補確立

大瀧發電所問題未解決の今日同問題に關し平町の爲めに最も熱心奔走し來れる愛町の士井上茂作氏が縣議候補の豫選に洩れたるを遺憾とせる平町

#### 有志は

同氏の立候補如何は平町將來の利福に多大の關係あるを以つて政黨派の立場を離れ是非共此際同氏を擁立して必勝を期さんと盛んに同氏に對し

### 候補を辭退した

#### 小野晋平氏的美徳

名聞利達に淡く

何等の野望なきその雅懷

去る廿八日開かれた石城政友俱樂部の縣議候補豫選會に於て當選した現縣議小野晋平氏は選舉民多數の輿望を擔ひ來るべき縣議戰に於て再び

#### 確實に

當選すべき事實として觀られて居たか既往四年間に亘り縣議在任中始終渾身の心血を傾倒して倦まなかつた小名濱商港及び平小鐵道の問題は昨今漸く實現の曙光を認むるに至つたとは云へ今後尙ほ地方官民の献身的努力に俟つもの多く

#### 地方民

一般が擧げて同氏今後の活動努力を要する所以なると同時に氏また益々今後の努力を拂はんとする所なるも氏が謙讓の美德は氏を驅つて以つて前記諸問題の實現促進上その負荷の重もきに堪へざるものとなし此際同志の先輩たる鈴木辰三郎、山崎吉平井上茂作諸氏及び古川傳一氏等

#### 同志の

力によつてより良き結果を招徠すべきであるとし即ち地方に於ける利益開拓の關鍵とも云ふべき小名濱商港、平小鐵道實現促進のために飽く迄同志多數の當選を期さねばならぬと氏は大多數選舉民の要望の反映とも云ふべき縣

### 議員の公認

#### 候補者を敢然辭退

し廿九日夜之れを發表するに至つたので地方民一般は

### 選舉氣分俄に濃厚

#### 話は是で持ち切る

うかつに話すこと一寸來いとくるから御注意

石城郡地方では縣議戰に臨み愈々政友民政の兩派が何れも豫選會を終了して大體に於て候補者の顔觸れも發表されたので俄に選舉氣分が濃厚となり搗て加へて從來の

#### 有権者數

に對し資格者は約數倍に達し一戸を構えるので資格なきものはない程の有様となつた爲之れ迄比較的無關心であつたもの迄有資格者となり濟まじ選舉を論ずると言ふ様な傾向となり何處の店先へ立つても選舉の話で持切るの前景氣であるからウカカ

#### 候補者の

身邊に一寸來いとくるから相互に注意が肝要である

#### 驚氏は

### 令息が代る

老體の爲めに

石城郡民政派から候補に推薦された同派の重鎮植田町驚清吉氏は老體の故をもつて辭退したので同派幹部は同氏の令息清章氏代つて出馬する事をしようしよう同氏も承諾したので三十日これを發表することになつた

#### 警城文化史

### 御買上の榮

諸根氏の光榮

目下翁島に御避暑中の山階宮萩藤王殿下には去る廿二日若松市役所に御成らせ給へ畏くも諸根樟一著「警城文化史」を御下問あらせら

### 調査委員會

來月廿七日開會

平稅務署管内四十萬筆餘に對する土地貸賃價格は過般中既にその調査を了したが縣會議員選舉前の爲め開會時期の告示を見なかつたが前記選舉の終了後來月廿七日頃より開會の豫定である

### 石城郡の候補者は

#### 定員の倍數に達す

勢力の優劣は云ふ迄もなく

#### 混戦は既定の事實

石城郡に於ける縣會議員候補者は既報民政黨の公認三名及び政友派の同上四名をはじめ各方面とも夫々の決定を見るに至り今後一二の異動ありとするも現在の顔ぶれは

- (政友派) 古川傳一、井上茂作、山崎吉平、鈴木辰三郎
- (民政派) 驚清章、野崎滿藏、若松美三
- (中立) 青沼録太郎、田子健吉
- (勞農黨) 山代吉宗

(日勞黨) 廣瀬貞

以上十一名の外民政派非公認の泉村鈴木孝章氏ありすに合計十二名定員の倍數に達する有様なのでその内同志に於て立候補勸説中のもの或は候補者自体に於て熱慮中のもの等未決の一二名あり未だ必ずしも之れを以て候補者の總てが決定したものと見るべきではない事勿論であるが定員に對する約倍數の立候補を見る以

### 震災記念

酒なしデーの

實行を申合す

平町では來月一日の關東大震災第四周年當日に於て最も緊張裡に當日を追憶記念する爲め日本國民禁酒同盟の希望に基く縣よりの通牒によつて左記申合せ事項の徹底を期すべく夫々畫策中

### 町長排斥

實行委員會開く

湯本町の過般來引續き紛擾中にある石城郡湯本町大字湯本に於ける高木町長排斥の實行委

### 持米を手放す

石城の農家

員會は二十八日午後七時より同町寺院惣善寺に於て會合したが出席五十餘名今後の對策に關する協議をなし七時閉會したと